

科目名	芸術(音楽)Ⅱ Art (Music) Ⅱ			担当教員	漆原 美紀 (窓口教員：坂本具償)		
学 年	2年	学 期	通年	履修条件	必修	単位数	1
分 野	一般	授業形式	講義:実技:観賞	科目番号	15120023	単位区分	履修単位
学習目標	1・2年次の2年間を通じて、音楽に関する理論的な基礎知識や西洋音楽史を学び、できるだけ多くの作品に接し、その時代背景や当時の社会・文化を理解した上で、楽器演奏を通じて基礎的表現力を身につける。様々なジャンルのプロの音楽家の生の演奏を体感し、音楽教養を通して創造力に富む有為な人材の育成を目標とする。						
進め方	教科書・プリント・楽器・CD・DVD等を用いて講義を進め、音楽の講義・視聴・楽器演奏を通じて授業内容の理解や応用力を高める。適時、演習を実施し、理解度を確認する。						
学習内容	学習項目 (時間数)			学習到達目標			
	※ガイダンス(1) 1. 音楽鑑賞(4) (1) プロの演奏家の演奏鑑賞(1) (2) ミュージカル・オペラ・音楽映画(3) 2. 西洋音楽史(2) (1) 古代ギリシャ・中世ヨーロッパの音楽(2)			音楽文化に対する総合的な理解を深め、その良さや美しさを感じ取ることができる。 (A-1)			
	2. 西洋音楽史(8) (2) ルネッサンスの音楽(2) (3) バロック時代の音楽(2) (4) 古典派の音楽(2) (5) ロマン派の音楽(2)			各時代における音楽の発展や実践、音楽様式の形成(種類や様式等)について説明できる。 それぞれの時代における音楽の特徴をとらえ、時代の変化や発展の推移を概観できる。 (A-1)			
	3. オカリナ(7) (1) オカリナの運指法・奏法の基礎(1) (2) 独奏練習(2) (3) アンサンブル(4)			基本的な低音から高音までの音をスムーズに鳴らすことができる。 基本的な演奏技能を向上させ、楽譜に忠実に表現豊かに演奏することができる。 アンサンブルの場合、全体のバランスや調和を感じ取ることができる。 (A-1)			
	4. ギター(8) (1) 独奏練習(4) (2) アンサンブル(4)			弦楽奏の音色と響きを感得できる。 重奏の場合、お互いのタイミングや呼吸を感じ取りながら表情豊かに演奏することができる。 (A-1)			
	試験返却(1)						
評価方法	通常の授業の中で、授業内容が理解できているかの確認テスト行う。 筆記試験 50%・実技試験 50%として評価する。						
履修要件	特になし						
関連科目	芸術(音楽)Ⅰ→芸術(音楽)Ⅱ						
教 材	教科書：「Joy of Music」 著者：畑中良輔 出版：教育芸術社						
備 考	単位追認試験、再試験は、適切な時期に実施する。						